

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史)科目：(地理A) 対象：(第2学年A組・B組・E組・F組)

科目担当者：

教科・科目の 指導目標	1. 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成することを旨とする。 2. 多様な文化を理解させ、他国民や他民族の人々を尊重する心を育む。 3. 自然環境・社会環境の仕組みを理解し、その重要性を認識する。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1. 地形図を読み取る問題の正答率は60パーセントを越えていたが、複数の知識を同時に必要とする設問に対しては苦手な生徒も一定数見られた。 2. 自然地理的な分野と人文地理的な分野の解答を見ると、自然地理的分野がやや弱いようであった。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本史とセットになった選択科目の地理なので、地理が苦手であっても選択している生徒もいるので、生徒の興味・関心を惹く内容をできるだけ多く取り入れる。 ・自然地理の分野では地学的要素が強く、文系の生徒にとって難解な部分もあるが、出来るだけ分かりやすく正しい知識を伝える。(視聴覚教材なども使用して) ・防災地理では、災害時に命を守るための知識を身に付ける。 4. 「学力調査」に向けた問題演習を行い、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がより深く授業内容を理解するため、或いは、生徒の苦手意識を克服するため、できる限り補助教材を用意する。 ・課題学習を授業内に取り入れ、知識の定着化を図る。 ・定期考査や課題などの結果を分析し、その情報を授業に生かす。 ・視聴覚教材も生徒の関心を高めるために、適切なタイミングで取り入れる。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			